

令和3年度 能代山本定住自立圏共生ビジョン懇談会（書面開催）の概要

1. 書面開催期間 令和4年3月 1日（火）から
令和4年3月11日（金）まで

2. 書面議決結果

【議題：会長及び副会長の選出について】

お示した事務局案に対し、承認13名、不承認0名により、会長に竹嶋委員、副会長に袴田委員が選任されました。

役職	氏名	所属団体等
会長	竹嶋 高明	能代商工会議所 専務理事
副会長	袴田 俊英	藤里町住民代表

3. 報告事項および共生ビジョンに関する意見等

【報告事項：基本目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況について】

各委員からのご意見等は次のとおりです。

区分	委員からの意見等
全体	コロナ禍の影響が様々なところに現れている。人口減少と高齢化は地方の大きな問題だが、これは社会構造の変化と一定の時間がなければ改善されない。 ただ、ポストコロナはある程度の構造変化が起こる可能性がある。暮らしやすい地域社会とは何か、さらに考えていければと思う。
	コロナに翻弄された2年間だが、いずれ収束に伴う人流の復活と、大型企業誘致、洋上風力等、今後大きなうねりが予想される。ビジョン作りにもより活発な議論が生まれることを期待している。
医療	小児救急は、減少していないため安心しているが、開業医の方々の高齢化が懸念される。 医師・看護師数の調査結果が4月に公表とのことなので、良い報告を期待している。
出生数	子どもの数が少ないからこそ、社会全体で子どもを大切に見守り、困りごとにも臨機応変に対処していくしかないと考えている。

区 分	委員からの意見等
学校教育	ふるさと奨学金は、将来に投資するすごくいいシステムだと思うため今後も続けてほしい。
広域観光	広域観光の推進のK P I が延べ宿泊者数となっているが、当施設では、県や町の宿泊助成により、宿泊者数は増加傾向にあり好調だが、観光バスの立寄り等が激減し、総売上高は減少している。K P I を主要観光施設の売上高に変更できないか検討してほしい。
地域公共交通	<p>車を手放した高齢者が住みやすい地域を目指していくべきだと考える。</p> <p>1市3町の路線バスについて利便性と利用者の費用軽減を図る話し合いを検討する必要がある。</p>
移住定住	<p>空き家バンクを1市3町で共有して活用できないか。</p> <p>また、移住相談会（首都圏など）、移住PRを1市3町で一緒にできないか。</p>